

# やまがみ 山神ダム

水を大切にしましょう

私たちが利用している水は、決して無限にあるものではありません。私たちの生活用水や工業用水などのほとんどは河川水にたよっています。その限りある河川の水を利用するために、ダムなどがつくられているわけですが、ダムがあっても、雨が降らずにカラになってしまっただけではどうすることもできません。いつも節水につとめ、水を大切にしましょう。

## 山神ダムの概要

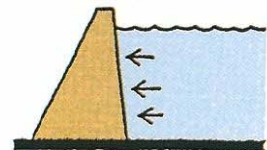
### 1 やまがみ 山神ダムの建設工事

ダムの工事は昭和46年4月から始まり昭和55年3月に完成しました。昭和55年4月から運転、管理しています。ダムの工事にかかった費用は94億3千万円です。



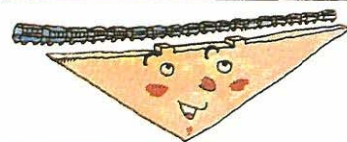
### 2 やまがみ 山神ダムの構造

●形.....重力式コンクリートダム



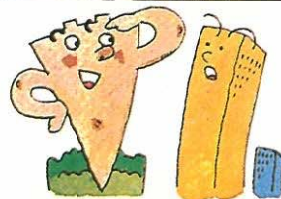
水圧をダム自体の重量で支えるダムで、水圧の力を岩盤とダムの摩擦によって防ぎます。

●長さ.....307.5m



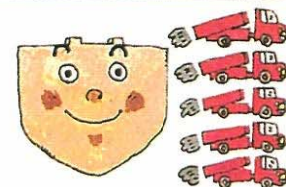
観光バスが1列に29台並びます。

●高さ.....59.0m



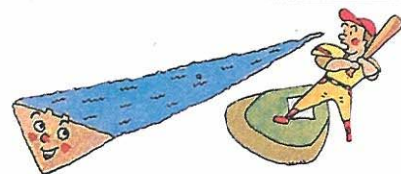
18階建てのビルと同じくらいの高さです。

●ダムの体積.....183,600m<sup>3</sup>



使ったコンクリートの量は11トンダンプトラックで約3万台分。

●水のたまるひろさ.....175,000m<sup>2</sup>



福岡ドームの約2.5倍です。

●水の集まってくるひろさ.....9,100,000m<sup>2</sup>

●水のたまる量.....2,980,000m<sup>3</sup>



水道用水として全部使えば筑紫野市・太宰府市・小郡市20万市民の40日分25mプール(300m<sup>3</sup>)の1万杯分

### 3 やまがみ 山神ダムの役割

①洪水を調節します。(治水)



雨や台風の時には、上流から流れてくる水をダムに貯めて、1度に多くの水が流れて川が増水し、家や道路に被害をもたらさないように調節します。このことを洪水調節といいます。

②生活用水を確保します。

山神ダムから、筑紫野市、太宰府市、小郡市に水道水を、1日平均20,000m<sup>3</sup>の水を送っています。最近では、人口の増加で、山神ダムの水も不足がちになっています。大切に水をつかいましょう。山神ダムでは雨の降ったときに水を貯め、その水を毎日送っています。



③維持用水を確保します。

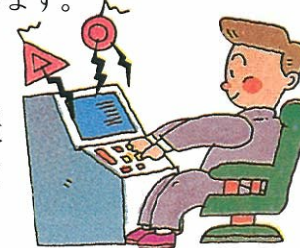
山口川から水を取り田や畑に送ったり、魚の泳げる水を流します。



### 4 やまがみ 山神ダムの管理

ダムの上流地域の雨量や水位等を自動的に観測しています。観測されたデータを無線で遠く離れた管理事務所で見ることが出来ます。

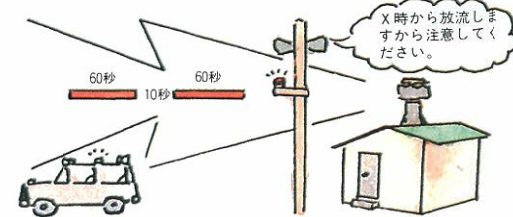
このような施設をテレメーター設備といいます。山神ダムではテレメーター設備を用いて雨量・水位のデータを管理事務所に集め、そのデータを計算し、最も安全な方法で放流を行うよう絶えず注意深い管理を行っています。



### 5 ダム放流時の注意

ダムに貯められた水を放流する場合は、無線で警報所のサイレン及びスピーカーを鳴らし、電光掲示板により知らせます。放流中は各警報所の上に赤色灯が回転しています。操作は管理事務所で行っています。

このような時は山口川の水が急に増えてあぶないので川に近づかないでください。



### 6 ダムからのお願い

ダムや河川の水は飲み水となるので、ゴミやあきカンなどを投げこまないようにしましょう。